

ワーキングスペース KKR ホテル梅田 利用規約

「ワーキングスペース KKR ホテル梅田 利用規約」（以下、「本規約」といいます。）は、KKR ホテル梅田（以下、「当ホテル」といいます。）が運営するワーキングスペース KKR ホテル梅田（以下、「本施設」といいます。）の利用条件を定めるものです。本施設をご利用されるにあたって、利用者には本規約に従ってご利用いただきます。

第1条（適用）

1. 本規約は利用者と当ホテルとの間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されるものとし、ます。
2. 当ホテルは本サービスに関し本規約のほか、ご利用にあたってのルール等各種の定め（以下、「個別規定」といいます。）をすることがあります。これら個別規定はその名称の如何に関わらず、本規約の一部を構成するものとします。
3. 本規約の規定が前条の個別規定の規定と矛盾する場合には、個別規定において特段の定めなき限り個別規定の規定が優先されるものとします。
4. 利用者は本規約、個別規定、本施設ウェブサイトに掲載される内容を承諾の上、本施設を利用するものとします。

第2条（サービス内容）

1. ワークキングスペース及びトイレ等の共用部分を利用する事ができます。
2. 個人情報保護の観点から、訪問客また電話等での問合せなどの取次ぎはいたしません。
3. 本施設を利用者の業務の本店所在地として、法人登記することはできません。
4. 本施設で利用者宛の郵便物を受け取ることはできません。

第3条（利用登録）

1. 本施設の利用を希望する者（以下、「申込者」といいます。）は当ホテルが定める形式で利用登録を行い本人確認資料（免許証・パスポート・マイナンバーカード等）により本人確認の完了をもって、本施設を利用することができます。

但し、申込者が以下のいずれかに該当する場合、本施設の利用をお断りする場合があります。

- (1) 本規約に同意しない場合
- (2) 年齢が満 18 歳以上に満たない場合
- (3) 過去に本規約または個別規約に違反したことを理由として利用制限および登録抹消の処分を受けた者である場合
- (4) 法令の規定、公序良俗に反する行為をする恐れがあると認められる場合
- (5) 泥酔状態であると認められる場合
- (6) 伝染病罹患者であると認められる場合
- (7) 暴力団員等（第 18 条に定義）と認められる場合

(8) その他当ホテルが不適切と判断した場合

2. 当ホテルは利用者が本施設利用時に入館カードキーを貸与し、利用者は退館時返却することとします。本施設を利用できるのは入館カードを貸与されたもののみとし、第三者を招き入れる行為は禁止いたします。
3. 万が一、入館カードキーを紛失または返却されなかった場合は、当ホテルが規定する弁償代を申し受けます。

第4条（利用者の権利）

1. 利用者は利用プランの内容に応じて本施設を利用できるものとします。
2. 利用者は本施設利用に関する権利を第三者に譲渡もしくは貸与することは出来ません。
3. 当ホテルは利用者に対して施設の利用にのみ許諾しており、賃借権や占有権を認めるものではありません。

第5条（利用プランおよび支払方法）

1. 利用者は利用プランに応じて当ホテルが別途定める利用料金を、当ホテルが指定する方法により支払うものとします。
2. 利用者は当ホテルが定める形式で月額利用登録を行うことにより、月額プランを利用することができます。
3. 利用者は当ホテルの定める形式で解約申請することにより、月額プランを解約できるものとします。解約申請日をもって月額プランは終了となり、残りの期間の利用料金は返金いたしません。

第6条（本施設利用のルール）

利用者は現地に掲示されている館内ルールに従って、本施設を利用するものとします。

第7条（所持品の管理）

1. 本施設内における所持品の管理は利用者の責任において行うものとし、本施設内において生じた紛失および盗難については、当ホテルは一切の責めを負いません。
2. 本施設内での拾得物について貴重品は最寄りの警察署へ届け、その他の物品については1カ月間当ホテルにて保管後、処分するものとします。
3. 飲食物・雑誌等の拾得物は即日処分いたします。

第8条（禁止事項）

1. 利用者は本施設の利用にあたり、以下の行為をしてはなりません。
 - (1) 法令または公序良俗に違反する行為
 - (2) 犯罪行為に関連する行為
 - (3) 本施設内での暴力行為、及び迷惑行為
 - (4) 自己の利用者情報について、故意であるか否かを問わず虚偽又は不備のある情報を登録する行為
 - (5) 本施設の運営を妨害するおそれのある行為

- (6) 音を流す行為（ヘッドホンを使用する場合は除く）
 - (7) 複数の座席、及び共用部分を占有する行為
 - (8) 本施設の他の利用者に不利益、損害、不快感を与える行為
 - (9) 他の利用者に関する個人情報等を収集する行為
 - (10) 不正な目的を持って本施設を利用する行為
 - (11) 本施設内での飲酒及び喫煙
 - (12) 料金の不払（理由の如何を問いません）
 - (13) 本施設内でのマルチ商法・情報商材などの営業行為、及び政治・宗教の勧誘行為
 - (14) 特定または不特定多数に大量のメールを送信する行為
 - (15) コンピューターウイルス等の有害なプログラムを、LAN を通じて提供、送信する行為
 - (16) 以下の物品の持ち込む行為
 - ① 悪臭、異臭を発生するもの
 - ② 火薬・摘発油等発火又は引火しやすいもの
 - ③ ペットを含む動物（事前に許可を得た盲導犬、聴導犬、介助犬等は除く）
 - ④ 麻薬等の薬物
 - ⑤ 腐敗物、腐食物
 - ⑥ 騒音を発する物
 - ⑦ 二輪車等の乗り物
 - ⑧ 他の利用者の安全を脅かすと認められるもの
 - (17) その他、当ホテルが不適切と判断する行為
2. 前項の行為によって当ホテル又は第三者に損害が生じた場合、利用者はその損害を賠償するものとします。

第9条（インターネット環境の提供）

1. 利用者は本施設内において無線 LAN でのインターネット接続サービスを利用できます。
2. 当ホテルの提供する回線を用いてインターネットへ接続する場合、以下のトラブル等について当ホテルは一切の責めを負わないものとします。
 - (1) インターネット上のウェブサイトの適合性
 - (2) インターネットを通じて入手可能なシステム・プログラムやファイル等の安全性
 - (3) インターネット上のエラーや不具合
 - (4) インターネットの利用不能により生じた損害
 - (5) インターネットの利用による個人情報及び機密情報の漏えい
 - (6) インターネットの利用による外部からの不正アクセス及び改変
 - (7) その他前各号に関連するトラブル等
3. 当ホテルは業務上必要であると認める場合又はやむを得ない事由が発生した場合、インターネット環境提供サービスを一時停止することができるものとします。
4. 当ホテルが利用者に対し、原因の如何及び帰責性の有無にかかわらずインターネット環境を提供

することができない場合、これにより利用者に損害が生じた場合でも、当ホテルは利用者に対してその損害を賠償することを要しません。

第 10 条（施設利用の停止等）

1. 当ホテルは以下のいずれかの事由があると判断した場合、利用者に事前に通知することなく本施設の全部または一部の利用を中断または停止することができるものとします。
 - (1) 火災、停電または天災などの不可抗力により、本施設の利用が困難となった場合
 - (2) 設備、通信回線等の不具合等により本施設の利用が困難と判断した場合
 - (3) その他、当ホテルが本サービスの提供が困難と判断した場合
2. 前項に基づき、本施設がサービスの中断または停止したことにより生じた損害について、利用者は一切の請求ができないものとします。

第 11 条（利用制限および登録抹消）

1. 当ホテルは利用者が以下のいずれかに該当する場合には事前の通知なく、利用者に対して本施設の利用を制限し、または利用者としての登録を抹消することができるものとします。
 - (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
 - (2) 登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合
 - (3) 料金等の支払債務の不履行があった場合
 - (4) 暴力団員等に該当する、暴力団等に支配されている、暴力団等との関係を有していることが判明した場合
 - (5) その他、当ホテルが本施設の利用を適当でないと判断した場合
2. 前項に基づき本施設が利用者に対して行った利用制限または登録の抹消により生じた損害について利用者は一切の請求ができないものとします。

第 12 条（免責事項）

1. 以下の事由により利用者が被った損害について、当ホテルは一切の責めを負いません。
 - (1) 本施設利用に関して、利用者と他の利用者または第三者との間において生じた紛争等
 - (2) 火災、停電または天災などの不可抗力により生じた損害
 - (3) その他、当ホテルの責めに帰することができない事由
2. 本施設の利用に際し、当ホテルが当ホテルの故意又は重大な過失により利用者に対して損害を与えた場合、当ホテルは本施設の利用に係る当月分の利用料金を上限に、直接かつ通常の損害を賠償するものとします。

第 13 条（サービス内容の変更等）

当ホテルは必要に応じて、利用者に通知することなく本施設のサービス内容を変更することができるものとします。

第 14 条（利用規約の変更）

当ホテルは必要に応じて利用者に通知することなく本規約を変更することができるものとし、本施設のウェブサイトに掲示した時点をもって、変更後の内容が適用されるものとします。

第 15 条（個人情報の取扱い）

本施設の利用に伴い当ホテルが取得する個人情報について適切に取り扱うものとし、法令に基づく事由を除き、本施設のサービス提供以外の目的に使用しません。

第 16 条（登録情報の変更）

利用者は利用登録時に申請した住所、会社名、メールアドレス等の登録内容に変更が生じた場合は速やかに変更の申請を行うものとし、申請しなかったことにより生じた不利益について当ホテルは一切の責めを負いません。

第 17 条（反社会勢力の排除）

利用者は自己または自社の役員等が、以下のいずれにも該当するものではないことを表明し、かつ将来にわたり該当しないことを確約します。

- (1) 暴力団（暴力団による不当な行為等の防止等に関する法律（平成 3 年 5 月 15 日法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
- (2) 暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
- (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団、又は暴力団員を利用している者
- (4) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的もしくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者
- (5) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

第 18 条（準拠法・裁判管轄）

1. 本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とします。
2. 本サービスに関する訴訟については、当ホテルの所在地を管轄する地方裁判所とします。

以上

2021 年 7 月 1 日 制定